

キルギス全土に非常事態体制を導入・ビシュケク市内で新たな感染者判明

令和2年3月21日

- 当地首相府は、3月21日付の公式サイトにおいて、3月22日から1か月間キルギス全土に非常事態体制を導入すると発表しました。当地報道によれば、今後、検問所の設置、医薬品や日常生活用品の輸送ルートの指定、国内の航空輸送、公共交通機関の運営、食料品店や薬局の営業等について規定されるとみられています。
- なお、空港関係情報によれば、ビシュケク～モスクワ間（アエロフロート）は3月24日（火）まで毎日1便運航するとされていますが、25日以降の予定も含め詳細は不明です。
- また、本日ビシュケク市内でも海外からの帰国者2名の感染者が新たに判明し、キルギス国内の感染者は合計14名となりました。手洗い、うがい、アルコール消毒、マスクの適切な使用等、感染予防に十分ご注意ください。